



2021 | 夏 第7号

発行責任者 田中達也  
香川県三豊市詫間町詫間 3905-3



おかげさまで  
第7号発刊！！

田中たつやのこれまでの活動については、「TT通信バックナンバー」を是非ご覧ください。



提案が採用されました

## 目指せ 議会のデジタル化

議会報告会を Youtube で

## 教育委員会が取り組む GIGA スクール

## 議員研修で ファシリテーション

議員に必要なスキルを真剣に考えました

考えて  
みよう

コロナワクチン接種申込を例に考える  
市民間デジタルデバイス



### 活動報告

- 議会でこんなこと質問しました 3月代表質問、6月一般質問
- ビーチクリーン参加 ● 新病院建設現場視察

### ここが気になる！！

- 詫間庁舎周辺整備の現状は？
- PayPay 還元キャンペーンとデジタルプレミアム商品券

コロナワクチン接種しました  
7月11日に1回目、8月1日に2回目の接種を受けました。  
副反応を心配する声が多く聞かれましたので、フェイスブック上で接種後の状況をレポートしました。



皆様、暑い日々が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、このIT通信ですが、楽しみにしている・参考になるというご意見をいただく一方で、難しい・カタいというご感想もいただきます。

デジタル関係のことを多く扱う上で、どうしても専門用語が増えたり、行政用語をそのまま使ってしまったりで、皆様方にわかりにくくなっているところが多いのだと思います。

今後はできるだけ分かりやすく、親しみやすい表現にいきますが、私の環境に配慮した服装（クールビズ）に対しては、重みがないとお叱りをいただくことがあり、今度は文章も軽いと思われないかが気になるところです。

同様に、行政の扱う施策は、色々な考え方を持った人からのクレームを避けることに重点を置くあまり、無難にまとめられ、尖った（突破力のある）施策は実行されにくい傾向にあると感じています。なので私は、皆様方からの多様なご意見を受け止めながら、私なりの解釈を加えて、より良い政策に繋がる提案をするよう心がけています。

流行りに乗って、三豊市政でも「誰一人取り残さない」という表現が多用され始めました。しかしそれは、皆が現状維持のまま良いまちにしようという、実現性のない目標ではないはず。また、ちの将来像を市民間で共有し、皆がそれに向かって小さなチャレンジを繰り返していくことによつて、「豊かな三豊市」は実現するのではないのでしょうか。

そんな思いを込めて、今回も皆様方に情報をお届けしたいと思えます。また、高齢者のワクチン接種も区切りがついたことから、少しでも元の生活に近づくことを目指して、皆様のところへ訪問することも始めていこうと考えています。引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

## 提案が採用されました

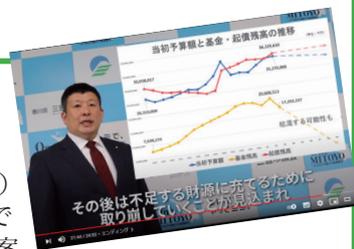
### 目指せ！議会のデジタル化 「議会報告会をYouTubeで」

従来の議会報告会は、議員をチーム分けし、各地域に出向き集会形式で開催していましたが、昨年度はコロナの影響で、延期を繰り返した上で完全な中止となってしまいました。

昨年度の延期が決まった時点で、私からはオンライン開催（インターネット会議システムをつかって）すべきだという提案をしたのですが、議会内に不安を感じる方が多く、残念ながら採用に至りませんでした。そこで、まずは録画配信を行って、アンケート形式でご意見を頂戴するのはどうだろうかという提案をしたところ、次年度に向けて準備を進めることになり、令和3年度で実現することができました。

制作は全て議員自身の手で行い、撮影や編集などの技術面は私が担当しています。映像関係は素人なので、出来栄は大目に見てくださいね。

既にアンケート期間は終了していますが、動画は公開中ですので、是非ご覧ください。



### 教育委員会が取り組むGIGAスクール

三豊市教育委員会の「GIGAスクール」に対する取り組みが紹介されています。昨年度、「ICT授業デザイン研修」が開催されると知り、日本財団の助成により無料で受講できるということから、教育委員会に受講を勧めておりました。

小中学校で貸与されるひとり一台端末を十分に活用するために何が必要なのか、しっかりと考えて取り組んでいるようです。

素晴らしい取り組みだと思いますので、是非QRコードからネット記事をご覧ください。

私からはこれに加えて、教員の皆様が日常生活でどれだけデジタルを取り入れているかが重要であると6月議会一般質問で要望しました。キャッシュレス決済や、映像コンテンツの視聴など、様々なデジタル技術を活用したサービスを活用しており、それが生活を豊かにしているという実感を持っているということが、子どもたちのデジタル活用の実態を理解し、適切な指導を行うことに繋がっていくと考えています。



### 議会研修でファシリテーション 「議員に必要なスキルを真剣に考えました」

年に1回行われる「三豊市議会議員研修会」で、「ファシリテーション研修」がついに採用され、7月14日に開催されました。

ファシリテーションとは、一言でいうと「会議を円滑に進める技法」のことで、私が議員になってすぐに必要性を感じ、約3年間提案し続けてきました。「議員同士が議論してないやん」と感じたのが提案のきっかけです。各議題について執行部から説明があり、続いて議員が個々に質問・意見をし、そのまま賛否を表明するという流れで、議会としての合意形成が、ほとんどなかったのです。個々に違和感は持ちながらも、それが議会の総意にならないため修正案を出すには至らず、とりあえず賛成となってしまいう感覚です。このままでは、より良い結果を求め難いと感じていました。

加えて、本会議だけでなく委員会もネット配信すべきという空気が強くなってきています。私はもちろん賛成派ですが、これを実現するためには、見ていて分かりやすい、質の高い会議にしていかなければなりません。

議会報告会も、今後は市民との対話が中心になっていくと考えており、そこで役立つ技法であるというのも理由のひとつです。

同僚議員から、とても勉強になったという感想が出ていましたので、今後の会議に生かされることが期待されます。





# コロナワクチン接種申込を例に考える 市民間デジタルディバイド



## デジタルディバイドとは

デジタルディバイドとは、ITの恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる格差を指し、通常「情報格差」と訳されます。

今後、デジタル庁の主導により、多くの行政手続きがインターネットに移行していくと予想されますが、それを地域が十分に活用できる状態にあるのか、我々はしっかりと考えておかなければなりません。

## ワクチン接種予約を例に考えてみると

三豊市では、65歳以上のコロナワクチン接種予約を、インターネットと電話受付で行いました。第1弾は、予約成立分の88%がネット予約となり、電話申し込みをしようとした市民の多くが、つながらない電話をかけ続けるという無駄な時間を使うことになりました。

実際に苦情も多かったのでしょうか。第2弾では71歳以上に対象を引き上げたうえで、9千人分の予約枠に対し、ネットと電話で半数ずつを受け付けることになりました。結果は、ネット分が1時間余りで終了し、それ以降はネットを使える人たちまでもが、電話をかけ続ける羽目になったのです。

ここで考えてみましょう。電話申し込みを選択した人は、ITの恩恵を受けられないのか、受けようとしなかったのかということについてです。

「やってみたら案外簡単だった」という声は多く聞かれましたし、今回の方法は、本人がやる必要もなければ、代わりにやるのが身内である必要すらありません。ネットにつながる環境さえあればよかったです。

## チャレンジしてみよう

このことから私は、ちよつと頑張ればできる人と、手伝ってくれる相手がいる人は、使える人扱いで良いと考えています。一方で、どうしても使えない人や、これから使えるようになっていこうとする人には支援が必要です。その為にも、使える人が、しっかりとITを活用することで、行政側のコストが軽減され、浮いた分を本当に支援が必要な人に充てることができるようになるのです。

ワクチン接種のような手続きは、「誰一人取り残さない」という言葉が本当に必要とされるものです。しかしそれは、「面倒だからチャレンジはせず皆が現状維持のまま」で実現するものではないと私は思います。

6月議会の一一般質問で取り上げた、市民間のデジタルディバイドをどの様に解消していくのかという問いに対して、「公民館等が実施するスマホ教室の情報提供を広く市民に提供する」という回答がありました。それだけでいいのか?とは思いますが、まずはそのような機会を積極的に活用して、多くの市民の皆様がITを活用する力を身に付けていただきたいと願っています。

私は「デジタル化の恩恵を全ての世代に!!」を掲げて、活動してまいりますので、気になることがあれば何でもご相談ください。



## 議会でこんなこと質問しました

詳しくは映像配信や議会広報をご覧ください。

### ● 3月代表質問 (会派桜の木を代表して質問しました)

- ①三豊市が取り組む「D X」について
- ②デジタル版プレミアム商品券について
- ③G I G Aスクール構想への取り組みについて
- ④公共交通におけるデジタル化の推進について
- ⑤スポーツ振興について



### ● 6月一般質問

- ①デジタルファーストの推進について
- ②新教育長に問う、G I G Aスクール構想の実現について
- ③詫間町体育センター・武道館老朽化への対応について
- ④地域経済活性化とワクチン接種率向上をセットにした施策の検討について



## ビーチクリーンに参加しました

ボランティア団体「Design The Earth」主催の「第8回☆海の日!!ブルーサンタでビーチクリーン」に参加しました。

これらの活動では、集めたゴミを収集場所に運ぶ手段が問題になるそうで、近隣の地域では、回収の手配を自治体が行うというところが多いそうです。三豊市も対応すべきだと思いますので、提案するための準備を進めています。



## 新病院建設現場を視察しました

7月21日に開催した「市立病院建設調査特別委員会」の中で、建設現場の視察を行いました。令和4年5月の開院を目指して、急ピッチで進めているそうです。病院の裏手(西側)にある瀬入川の護岸も、きれいに整備されていました。

追加費用の発生が問題となっていた地中障害物の撤去については、当初より減額はされていたものの、40億円の予算内に収めるための対応をするよう、委員会から病院に対して要求しました。



ここが  
気になる!!

### 詫間庁舎周辺整備の現状は？

三豊市詫間支所庁舎は、現在、新耐震基準に適合していないことを理由に、マリノウエーブ内に一時移転しています。隣接する「詫間福祉センター」と「詫間勤労会館」は、現在貸館として利用されていますが、同様に耐震不適合のため、令和4年3月末をもって、貸館を停止し、令和5年度には3施設の解体工事を実施するという方針が示されました。

代替利用施設として、「マリノウエーブ」「詫間ふれあい交流館」「松崎コミュニティセンター」が挙がっていますが、それで賄えるとは考えにくいところです。再整備については、建設部都市整備課の所管となり、令和7年度中に完成させるべく、基本構想の策定が進められています。できるだけ早く整備する必要があると考えます。

また、これには「詫間町民体育センター」「詫間町武道館」も含めて検討するよう要望しております。

今後は、市民の皆様方からご意見を聞く機会もあるそうですが、重要な意見は早く伝えるに越したことはないの、ご意見をお持ちの方は、是非お知らせください。



### PayPay還元キャンペーンとデジタルプレミアム商品券

商工振興事業として、今年6月「ミトヨで、買ってミヨ。スマホ決済で最大30%戻ってくるキャンペーン」と題し、PayPayポイント還元事業が実施されました。

ポイント原資1億4900万円(財源は地方創生臨時交付金)に対し、還元額は9600万円余りと、3分の2に届かない結果となりました。還元率は30%と大きかったのですが、決済1回あたりの上限が1000円、期間中3000円までという設定が影響したものと考えられます。しかし上限を大きくしていた場合、予算をオーバーしても1か月の期間中は止めることができない契約になっているため、慎重に設定する必要があります。とてもむずかしいですね。

続いて、三豊市プレミアム商品券事業(紙方式)が実施されました。こちらはプレミアム分が6000万円(地方創生臨時交付金)で、抽選販売のため全額使われます。

この2つの大きな違いは、前者の場合、買い物をした金額に対してポイントバックされ、ポイントは市外でも使えるのに対し、後者は、プレミアム分まで含めて市内加盟店でしか使えないということです。前者は、市外からもポイントを狙って買い物に来ますので、期間中は市内加盟店が潤いますが、翌月は丸亀市で実施されましたので、そちらに流れるわけでは、近所です。非接触決済への移行を促進するという点では評価できると考えています。

続いて実施されるのが、三豊市プレミアム付デジタル商品券・観光商品券事業「Mitoyoshi」です。

プレミアム分は、市民向けが15%で1500万円、観光客向けが20%で200万円(地方創生推進交付金)で、スマホの専用アプリを使って決済します。購入予約は先着順とのことですので、予約期間にご注意下さい。



### 編集後記

今回はオリンピックの開催期間と、TT通信の編集が重なっています。

当選から3年半が過ぎ、次の選挙も目前です。ご期待に沿えるだけのことができていないのか、不安も感じながら活動している中で、柔道金メダルの大野選手の言葉「賛否両論があることは理解していません。ですが、われわれアスリートの姿を見て、何か心が動く瞬間があれば本当に光栄に思います。」が胸に刺さりました。今後も、私の活動が皆様方のより良い生活につながることを信じて、活動を続けてまいります。

田中達也

### TT通信を読んで下さる方へ

TT通信は、郵送・ポスティング等を行っておりますが、毎回全ての方々にお届けするのは難しい状況です。購読をご希望の方は、田中たつやWebサイト、メール、お電話で是非お申し込みください。ポスティングのお手伝いをさせていただける方も、随時募集しております。

### ▼申込サイト



質問・感想・相談は  
田中たつや Web サイト  
<https://tt.mitoyoshi.com>  
Email [tt@mitoyoshi.com](mailto:tt@mitoyoshi.com)

田中たつや事務所  
三豊市詫間町詫間 3913-1  
TEL 090-1004-4745